

平成30年度

# 研究だより

春号

附属光学園

山口大学教育学部附属光小学校・中学校

## 小中一貫教育において めざす子どもたち像



自己

生活を拓く・  
自己を活かす

知性

知を愛する

共生

共にある

〒743-0007 山口県光市室積 8 丁目 4 番 1 号

小学校 TEL(0833)78-0124・FAX(0833)75-1507 URL <http://www.hikari-es.yamaguchi-u.ac.jp>

中学校 TEL(0833)78-0007・FAX(0833)75-1509 URL <http://www.hikari-jhs.yamaguchi-u.ac.jp>

小学校・中学校 URL <http://hikari-gakuen.edu.yamaguchi-u.ac.jp>



# 国語科



国語科の小中一貫カリキュラムの作成では、学校教育目標に向かう教科の目指す子どもたち像を以下のように設定し、その実現を目指したステップとなるように、各学年で「身につけさせたい」力を検討しています。授業研究では、この各学年の目標を達成するための授業の在り方を模索しました。

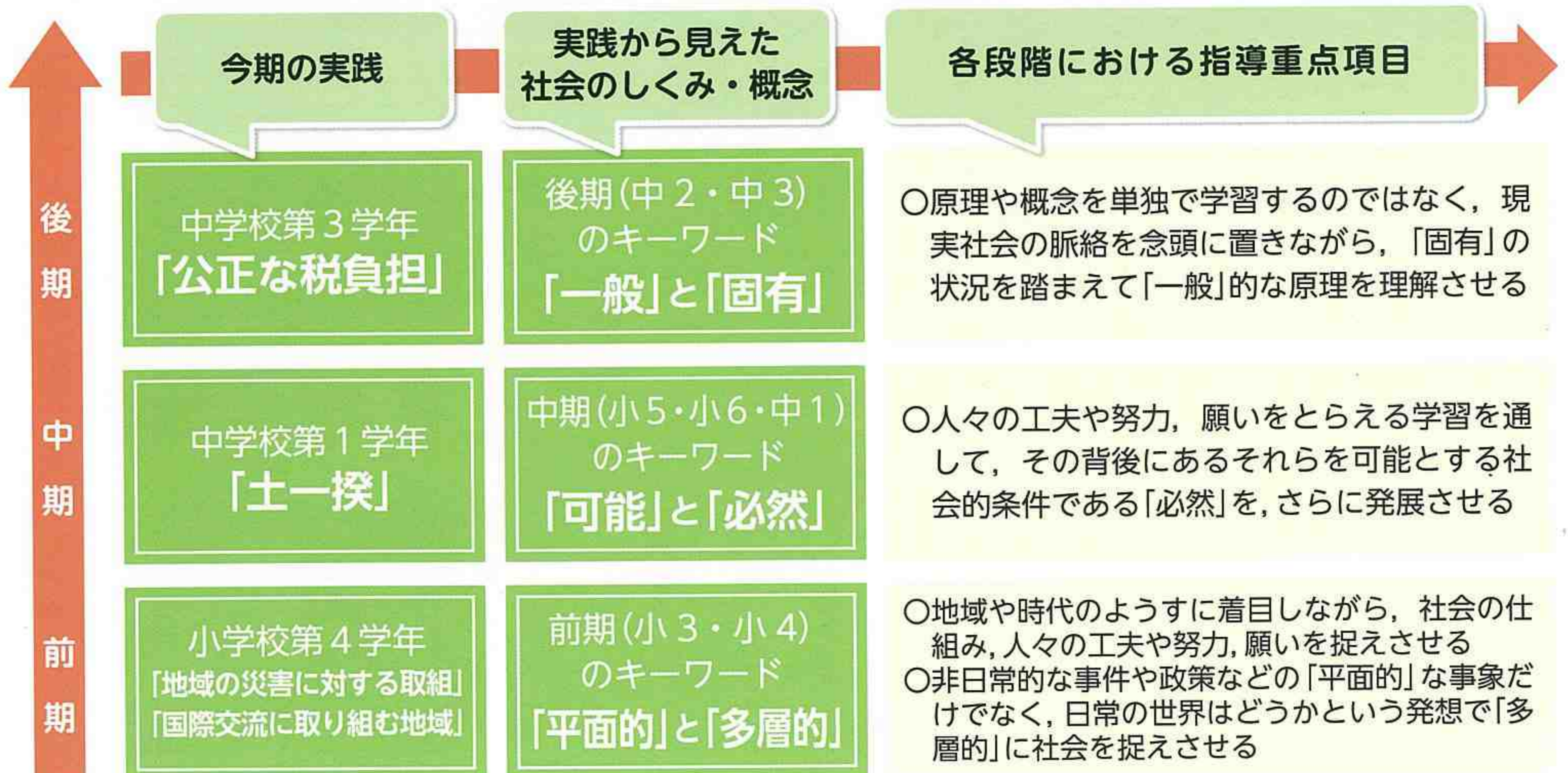
|  |   |  |
|--|---|--|
| <b>学校教育目標</b>  | <b>【知性】知を愛する・【共生】共にある</b>   |  |
| <b>国語科の目指す子どもたち像</b>   | 言語感覚を豊かにし、言葉にこだわって理解や表現を追求し、言葉によって思いや考えを深める子どもたち  | 意見を確かめ合うことで互いの思いや考えを深め、言葉を通じて伝え合う価値を認識する子どもたち  |
| <b>現児童・生徒の課題</b>   | 互いの意見を吟味し、よりよいものに更新していくこと   |  |
|  | <b>個での学習で身につけたい力</b>  | <b>集団での学習で身につけたい力</b>  |
| <b>中3</b>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>文章の構成や論理の展開、表現について評価する</li> <li>複数の文章を比較して読む</li> <li>既存の知識や世相と結び付けて読む</li> </ul>                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>文章を読んで考えを広げたり認めたりして、人間、社会、自然などについて自分の意見をもつ</li> </ul>   |
| 実践事例【夏草】一つの課題をもって各章段を読むことで、それぞれを関連づけながら筆者の考えに迫ることができると考え、実践を行いました。                             |   |  |
| <b>中1</b>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考える</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにする</li> </ul>   |
| 実践事例【幻の魚は生きていた】段落同士の関係をとらえることで、構成や各段落が書かれている意図をつかむことができると考え、実践を行いました。                          |   |  |
| <b>小6</b>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えの根拠となる記述を複数関係付けて読む</li> <li>説明の仕方を評価して読む</li> <li>要約しながら読む</li> <li>文章全体の構成をとらえて読む</li> </ul>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>自他の理由付けを結び付けながら読む</li> <li>他者が挙げた根拠と理由の妥当性を判断する</li> <li>他者の意見に質問し、理解を進める</li> <li>自分とは異なる意見や感想を聞き、自分の考えを広げる</li> </ul> |
| 実践事例【『なべ』の国、日本】～要旨を推論して読もう～<br>文章を批判的に読むことが、他者の意見のよさを判断しながら聞く力を培う一助になると考え、実践を行いました。            |   |  |
| <b>小2</b>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えの根拠となる記述を見つけて読む</li> <li>生活経験や既存の知識と結び付けて感想をもつ</li> <li>場面と場面とを比べて読む</li> <li>中心人物になりきって読む</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>根拠と理由を添えて意見を述べる</li> <li>文章を読んで感じたこと、わかったことを共有する</li> <li>共感を態度や発言で示す</li> </ul>  |
| 実践事例【ニャーゴ】～ねことねずみは友だちになれるのか？～<br>人物像に着目して、本編に合う続き話について話し合うことが、互いの考えを吟味し、再構成する力を培うと考え、実践を行いました。 |   |  |



# 社会科



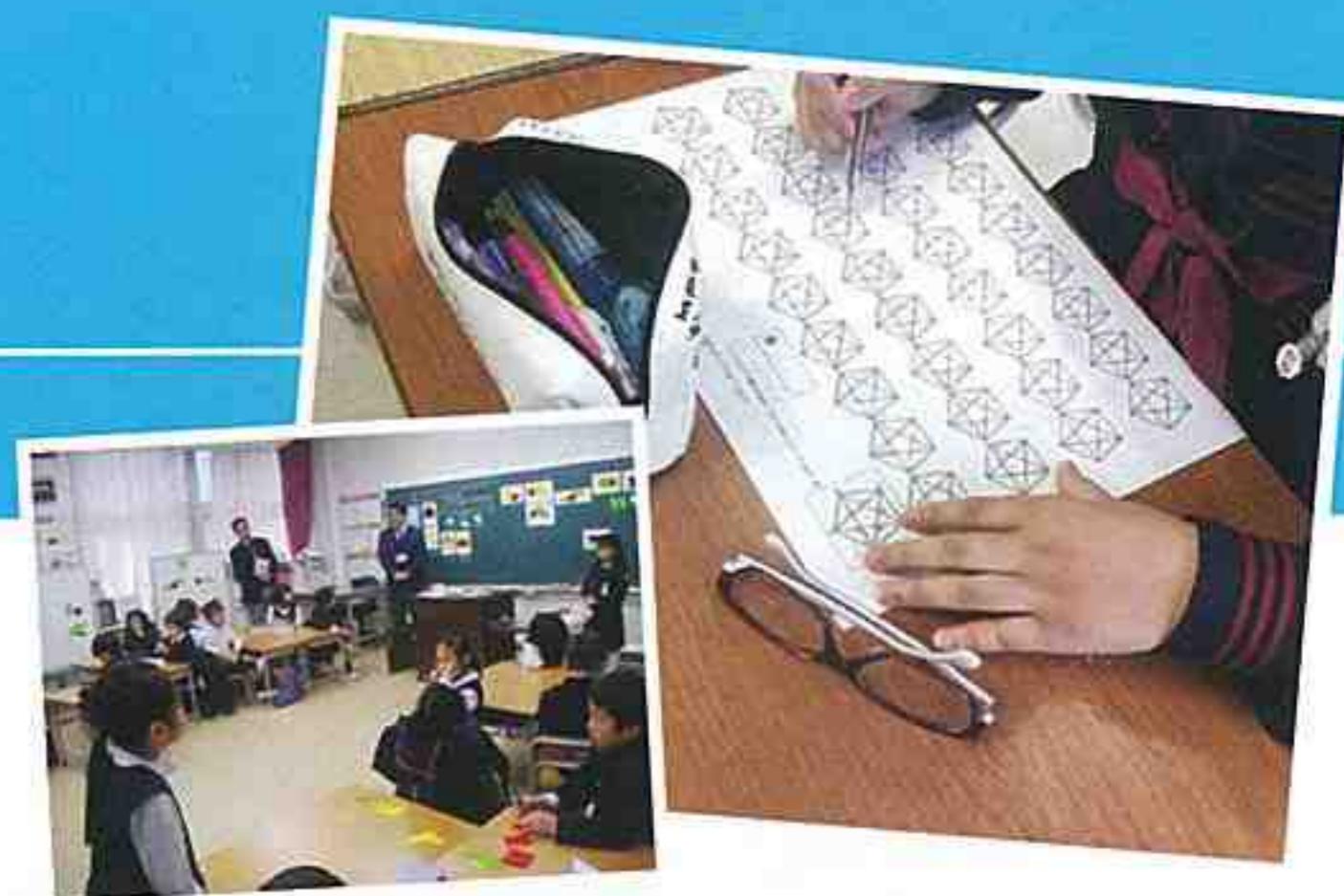
社会科部では、「社会的な見方・考え方を働かせ、よりよい未来社会を築く子どもたち」というテーマの基、実践を通して見えてきた子どもたちの姿から、前期～後期までの指導重点項目を設定しました。





# 算数・数学科

「数学的な見方・考え方のよさを実感し、自ら統合的・発展的に考える子どもたち」を9年間で育てよう



## 平面図形のつながりを考えよう

### 小学校第1学年

「つくろう!あそぼう!かたちどうぶつランド」  
～かたちづくり～

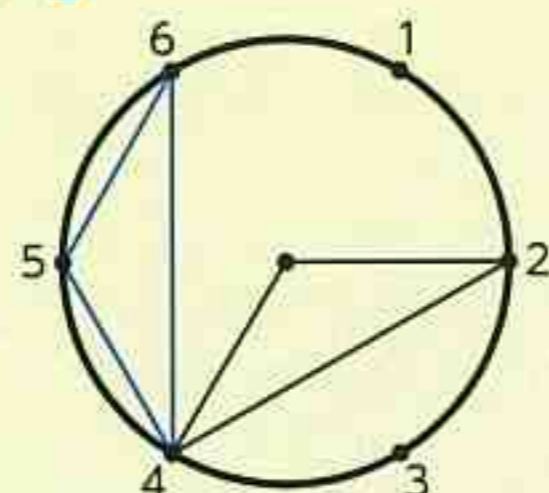


かたちの線の長さやかどに目を向け  
たら、動物の影絵にぴったりとかた  
ちを埋めることができました!!

### 小学校第3学年

「○○つかって三角形リサーチ」  
～三角形と角～

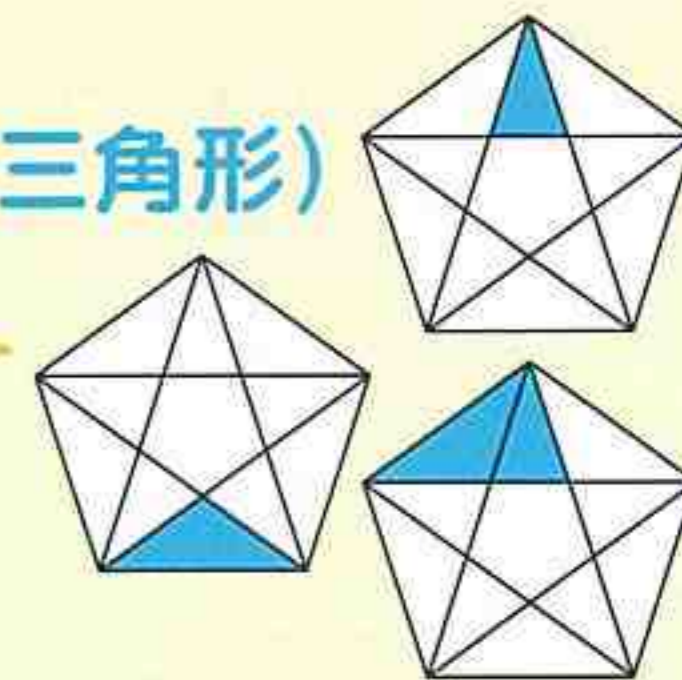
点と点の距離に目を向けると、二等  
辺三角形になる組み合わせのきまり  
が見つかった!!



### 中学校第2学年

「三角形」(正五角形の中の三角形)

角や辺の位置関係に目を向けると、  
二等辺三角形になる条件が見つっ  
た!!



このように…

カリキュラム作成中です!

子どもたちにつながりを見せられないか!

小中9年間を通して子どもたちが働かせる「数学的な見方・考え方」のつながりを把握して指導できたら、子どもたちの資質・能力が育つはず!

6月の研究発表大会でも、小中9年間の学びのつながりを見てもらおうよう準備をしていきます!



# 理科

「科学的に物事をとらえ、根拠に基づいて、  
発展的に思考することができる子どもたち」



エネルギー領域の実践では、量的・関係的な見方を働かせながら探っていくことを通して、科学的に物事をとらえる面白さやよさを実感できる子どもたちを目指しました。

### 小学校第6学年 「電気の性質とその利用」

電気の効率的な利用と、電気の変換の仕方との関係に着目し、実験を繰り返して  
いく中で、事象を多面的・総合的にとらえていくことが、自らの考えを  
より妥当なものに更新していく力を培うことにつながると考え、実践を行  
いました。



### 小学校第3学年 「音の性質」

音と物の震えとの関係に関心を持ち、音の大きさを変えながら、物の震え方  
との関係をとらえていくことが、エネルギー領域における量的・関係的な  
見方や、事象を比較したり関係付けたりする考え方の素地を養うことにつ  
ながると考え、実践を行いました。





# 音楽科

「創作(音楽づくり)」分野を柱として、音楽の総合力を高める題材開発を行っています。

## 9年間で目指す子どもたち像

### 「学校テーマソングをつくって表現を工夫することができる子どもたち」

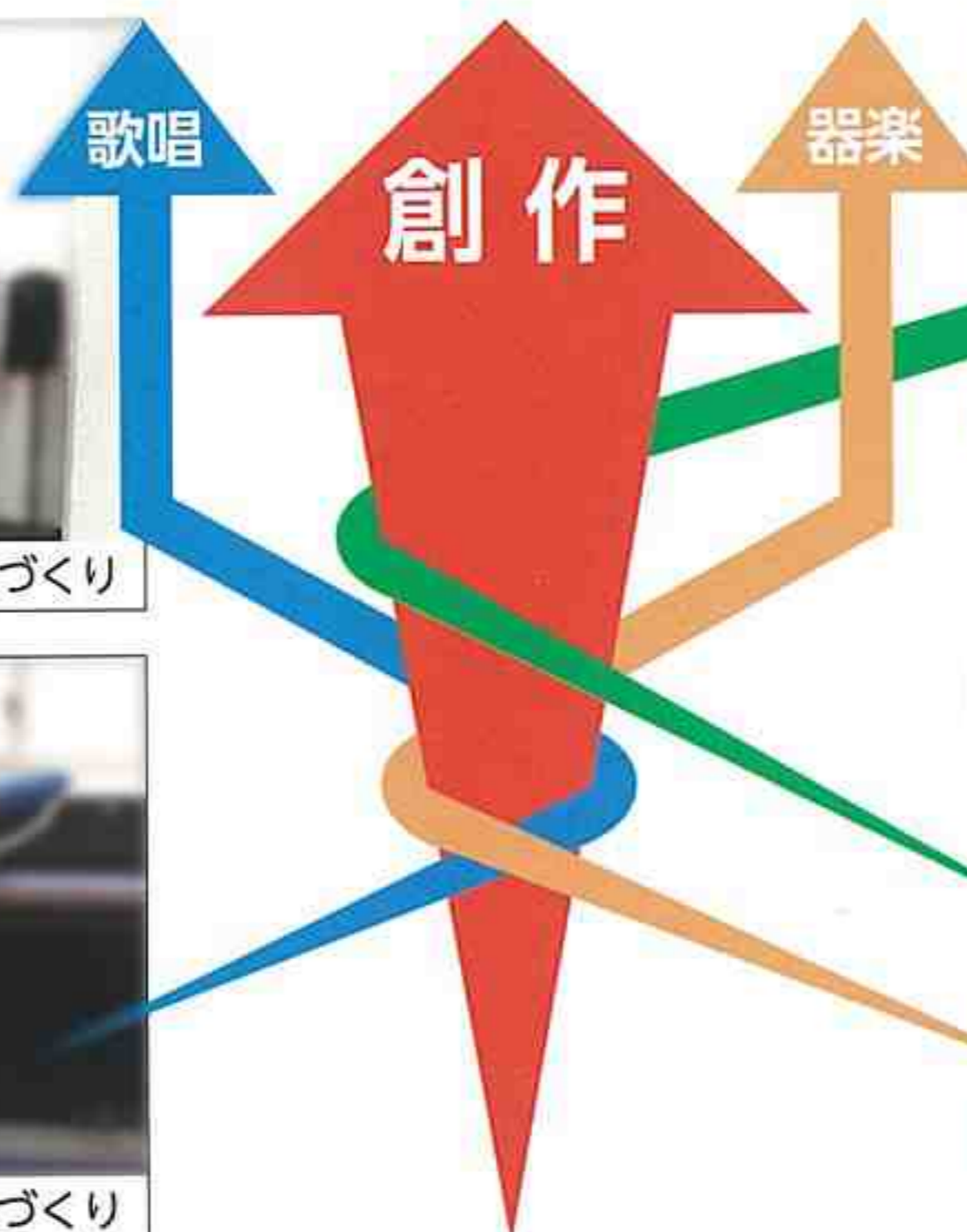
表現しようとするイメージを明確にもち、音楽的な見方・考え方を働かせながら音楽をつくっていきます。



中期(小学校5~中学校1年) 和音の構成音を使った旋律づくり



前期I(小学校1~2年) 合いの手づくり, リズム伴奏づくり



後期(中学校2~3年) 旋律・和音伴奏づくり



前期II(小学校3~4年) 副次的な旋律づくり, 和音伴奏アレンジ



# 図画工作科・美術科



図画工作科・美術科では、「互いのよさや美しさを取り入れ、自分の思いを表現することの喜びを感じることでできる子どもたち」の育成を目指して、研究を行っています。友達とかかわり合いながら自分の発想や美しいと感じる感性を広げ、意欲をもって製作や活動に取り組むことが大切であると考えからです。そこで、それぞれの見方・感じ方の違いや発想の面白さに気付かせる授業を設定しました。

|             | 目指す子どもたち像   | 実践事例                                       | 見方・考え方を働かせて引き出したい姿・発言   |
|-------------|---|--|---|
| 後期<br>中二~中一 | 自分なりの美しさや価値観をもち、生活の中にある美術や美術文化と豊かに関わることができる子どもたち。 | 中学校2年生<br>「デザインの心<br>~ペットボトルのデザイン~」<br>    | ○ウグイス色は、落ち着いた感じがして、緑茶のイメージに合っているね。<br>○ペットボトルの形も、フォルムの曲線を微妙に変えることで、個性を出しているな。 |
| 中期<br>中一~小五 | 一人一人が感性を働かせ、自分なりの美しさを考え、表現する喜びを味わうことができる子どもたち。    | 小学校5年生・中学校1年生<br>「石と砂で風景を表そう<br>~枯山水~」<br> | ○奥に小さな石を置き、手前に大きな石を置くことで、遠近感を表しているね。<br>○水墨画と枯山水は似ているね。枯山水を表現するために、参考にしたいな。   |
| 前期<br>小四~小一 | 感じたこと、想像したことから表現したいことを見付け、表現する喜びを感じるができる子どもたち。    | 小学校2年生<br>「あきのいろどりで<br>~ランプシェードをつくらう~」<br> | ○葉の形を生かして、組み合わせると花ができそうだな。<br>○黄色が光を通してきれいに見えるね。<br>○友達の作品は、赤を使っていて、元気な感じがする。 |



# 体育・保健体育科

「知識と技能を関連付けて、主体的に課題解決に取り組み、生涯にわたって運動に親しもうとする子どもたち」



体育・保健体育科では、身に着けた知識と技能を関連付けて課題を解決していくことができるように、以下の実践に取り組みました。

## 小学校第4学年「4の2グリッドポートボール」

「ゲーム」領域の様々な型のゲームの特性とゴール型ゲームの特性を比較することで、楽しみ方や動き方などを追究していきました。また、攻めやすい状況をつくりやすくするためにコートグリッドで区切り、個や集団の動きを視覚化しました。



## 中学校第2学年「バスケットボール」

空間を見つけたり攻守の切り替えを考えたりする活動をすることで、オフェンスの動き方を追究していきました。小学校同様、コートグリッドで区切って細分化し、空間を視覚化することでパスコースを分かりやすくしました。



# 技術科



学びの  
つながりと広がり

高校や大学, 社会生活等における課題を解決する

### 中学生

後期 (中3 後期)

中期 (中2・中3 前期)

前期 (中1)

技術科での学びを活用・応用した課題解決

設計に重点を置いた課題解決

技能に重点を置いた課題解決

### 小学生

各教科, 特別の教科 道徳, 総合的な学習, 特別活動

家庭や地域, 社会における生活経験や各種体験



# 家庭科



〈家庭科で目指す子どもたちの姿〉

## 「生活を科学的に見つめ、よりよい生活を創造していく子どもたち」

家庭科部では、生活課題のよりよい解決方法について、科学的な根拠をもって見出すことができるよう、以下のような実践を行ってきました。

### 小学校第5学年「冬の住まい名人になろう」

経験値だけでなく、データを基に、図書室を快適にするための方法について話し合わせることで、根拠をもってよりよい住まい方を見出せるよう実践を行いました。



### 小学校第6学年「つくろう!『ベストマッチバッグ』」

バッグに入れるものや用いる素材とマチの大きさとの関係を見出していけるよう、マチの大きさの異なるバッグを比較し、製作への見通しをもたせる実践を行いました。



### 中学校第1学年「附中オリジナルけんちょうを作ろう」

「基本的なけんちょう」と「山口市に伝わるけんちょう」を比較して気付いたことや県農林水産マップなどを基に、オリジナルけんちょうをつくる実践を行いました。



### 中学校第3学年「幼児とのふれ合い」

幼児に関するデータや資料を収集・作成させ、その科学的な根拠を基に、幼児とのふれ合い方について思考を深められるよう実践を行いました。



# 外国語活動・英語



## 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を育む場面設定

- 「やってみたい」「考えたい」という子どもたちの知的好奇心がときめく子どもたちが英語を使って話してみたいという思いをもって活動できる。
- もどかしさが共有できる課題がある  
課題を解決した後に、達成感や有用感、次の課題への意欲をもつことができる。
- 思いや考えを伝える場がある  
双方向のやりとりから、コミュニケーションへの意欲を高めることができる。
- 豊かな人間性を育むやりとりがある  
聞こうとする姿勢やリアクションなど高い相手意識をもって活動できる。

複数の技能を統合的に活用する活動

### 【外国語活動・英語科の目指す子どもたちの姿】

- 相手の思いや考えに耳を傾け、既得の知識を柔軟に生かしながら自分の思いや考えを伝えようとする姿
- 自己表現する楽しさと他者を理解する大切さを知り、豊かな人間関係を築いていこうとする姿



# 特別の教科 道徳



## 人間的な魅力を探そうとする姿をめざす



# 9年間の学びの中で成長させていきたい姿

自己を  
見つめる姿

物事を  
(広い視野から)  
多面的・多角的に  
考える姿

自己の生き方  
(人間としての生き方)  
についての考えを  
深める姿

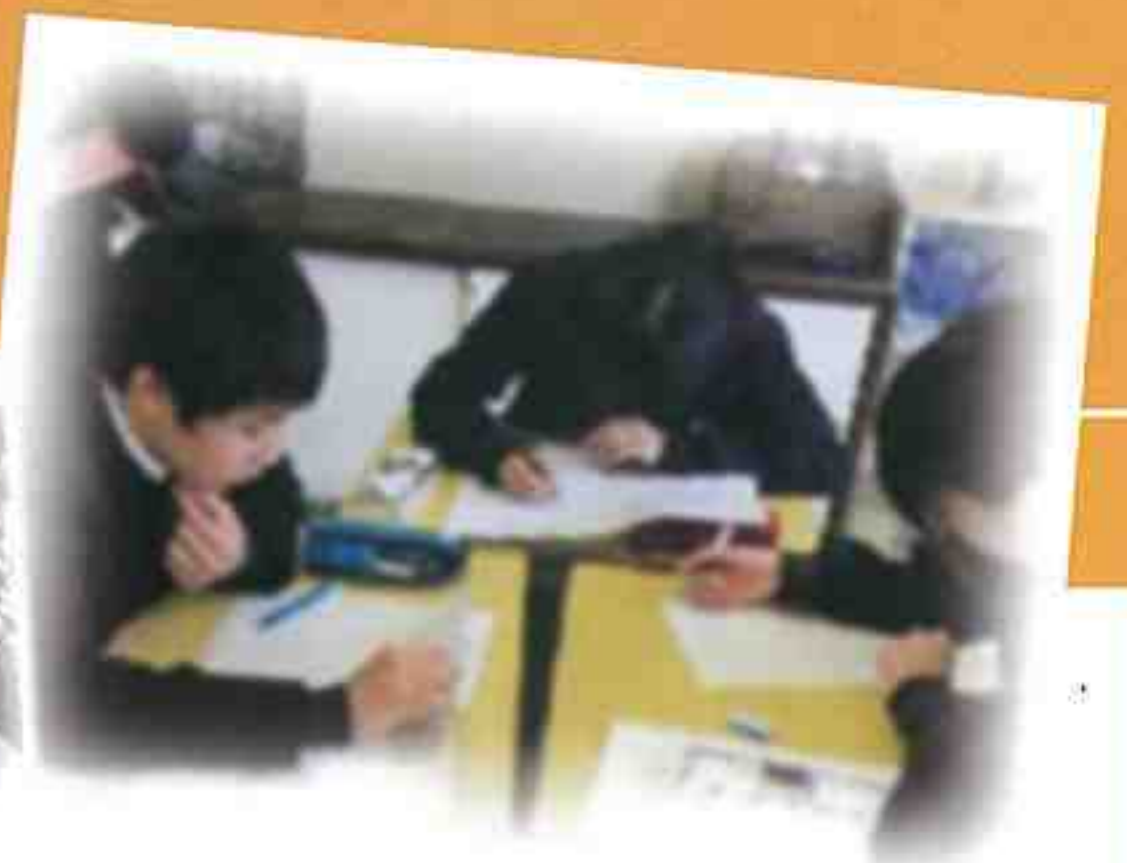


( )は後期

## ステキな心を探そうとする姿をめざす



# 総合的な学習の時間



「自分の可能性や未来の姿を模索し、生きる道を創り出していく子どもたち」を小・中9年間で目指す子どもたち像とし、これまでに、小中のつながりを意識しながら、次のような単元開発を行ってきました。

### 自分自身を見つめる単元

#### 小4 「つくりたい！もっとすてきな私の時間」

〈探究課題〉好きなことに取り組む価値  
〈課題に関わる概念〉

- 好きなことやその価値は人によって様々であり、それらが自分らしさとなること
- 好きなことを、生きがいや心の安定につなげている人が多く、自分を支える存在として、大切にしていけるとよいことであること

#### 中2 「未来を創る力」

〈探究課題〉これからの未来を切り拓く力  
〈課題に関わる概念〉

- 人にしかできないことを考えることが、これからの時代を生き抜く指針となること
- 職種や立場によって「未来を創る力」の考え方が異なり、それが社会を豊かにする個性となること

### 地域への愛着を高めるための単元

#### 小5 「光と海の幸 ～光の海を継ぐ人々～」

〈探究課題〉漁業文化とその継承に力を注ぐ人々  
〈課題に関わる概念〉

- 地域の文化は、歴史や環境と深く関係しており、行事や建造物とのつながりが今もあること
- 少子高齢化や職種の多様化により地域の文化である漁業を守ることに難しさが生まれているが、その継承に力を注ぐ人々が求められること

#### 中3 「恩返しプロジェクト」

〈探究課題〉成長に関わった地域の人々や環境  
〈課題に関わる概念〉

- 地域の一員として、地域のために自分ができることを探り、行動に移すことの大切さ
- 受け手の思いを考えながら、感謝を返す方法を考えることが、より良い関係づくりにつながる

# 発刊にあたって

## ～本校の研究について～

本校は、平成30年度に小中一貫校としてスタートしました。長年続けてきた小中連携教育研究で得られた知見をベースに、三つの特徴をもつ研究活動を実践しています。

### 「めざす子どもたち像」の共有

一つ目は、小中の教職員が「めざす子どもたち像」を共有することを大切にしています。今後、子どもたちが社会に置かれるであろう状況や、本校の子どもたちの現状や課題を踏まえ、「知を愛する」子どもたち(知の探求者)と「共にある」子どもたち(共同参画者)を育てるという二つの側面から、子どもたちの学びと育ちを捉えることを大切にしたいと考えています。

### 「小中一貫カリキュラム」の開発

二つ目は、「めざす子どもたち像」を実現するためのカリキュラムの開発に向けて改善を重ねています。本校は小中施設一体型であると共に大学の附属校であり、これまでも小中連携研究の蓄積もあります。これらの特徴や歴史を軸に、小中教職員の協働による小中一貫カリキュラムの開発を行い、子どもたちの学びと育ちを捉えようとしています。一昨年度から、資質・能力、教材・配列、見方・考え方等で整理した三層からなるカリキュラムを作成し、小中9年間を見通した教育を進めようとしています。

### 「共有知見型研究」の推進

三つ目は、全体論を立てて、その実現を各教科でめざす「理論先行型研究」を改め、研究授業から見えてきたことを語り合い、共有する「共有知見型研究」を推進しています。また、「研究授業の実施→結果の分析の教職員での共有→カリキュラムの見直し→次の研究授業の実施」というサイクルを、小中教職員でグループを組んで行っています。

春号におきましては、上記の取組から見えてきた成果や課題に言及しながら、各教科・領域ごとの内容を掲載しました。ご一読の上、ご意見やご示唆を頂戴できれば幸いです。秋号では、具体的な実践事例について掲載する予定です。皆様には今後とも変わらぬご指導とご鞭撻を心よりお願い申し上げます。発刊のご挨拶とさせていただきます。